

広域通信制 株式会社立 やまと高等学校

令和5年度（2023年度） 学校評価表

1 学校教育目標
<p>これまで蓄積されてきた実践的知見と先進的な情報通信技術とを融合させた新しいスタイルの教育を展開することで、健全な個性を伸長し、確かな学力を育む。日本人が大切に守り受け継いできた精神を学習の根底に据え、体験的な学習や特別活動を通して豊かな人間性を涵養するとともに、健康の増進と体力向上を図る。協動的で探究的な学習に取り組むことで、他者と協力して困難な課題を解決し、社会に寄与貢献しようとする、志高い人材を育成する。</p>

2 学校教育重点項目
<p>(1) 健全な個性を伸長し確かな学力をはぐくむ 多様なメディアを使い生徒の個性にあった教材を準備し課題提出や面接指導を通してすべての生徒に学習の機会を確保していく</p> <p>(2) 健康の増進と体力向上を図る 主に、面接指導・特別活動・学校行事を通して自身の健康体力に課題意識を持ちながら体力向上や健康増進に取り組む姿勢を養う。</p> <p>(3) 他者と協力して困難な課題を解決し、社会に寄与貢献しようとする志高い人材の育成 主に、特別活動、特に学校行事を通して地域社会とのつながりや、SDGsに係る諸問題に取り組みながら、様々な課題意識を持ちながら活動していく。</p>

3 自己評価総括表						
評価項目	評価の観点		具体的目標	具体的方策	評価	成果と課題
	大項目	小項目				
学校経営	学校教育目標の理解と実践	通信教育実施計画に生徒が学習の機会を確保できる工夫がなされているか	多様なメディアを使い生徒の個性に合わせた授業形態を確保している	VODや授業動画を的確に提供する 添削課題の分量や内容について検討している	B	通信機能を使っでの教育については、教師、生徒、保護者の評価は高い。添削指導の工夫について教師側の評価が低かった。
		特別活動の提供	教育目標に実現に向けた特別活動を設定し適切な時期に生徒へ提供している	本校で行われる各種行事の教育目的の明確化 郊外活動で行われる各種行事の教育目的の明確化 多様なメディアによって実施される特別活動での教育目的の明確化		
	学校教育重点項目の理解と実践	生徒の個性に応じた教材の選定や課題の設定	履修した単位を全生徒が履修できる	課題の提出状況を的確に把握している スクーリングや特別活動への参加状況を把握している	B	学習状況については、通信機能を使った特性を活かし行なわれているものの、生徒の状況把握について情報提供等に課題がある。
		健康の増進と体力向上	スクーリングや特別活動の適切な活動を行う	多くの生徒が参加できるように企画や機会を提供している		

		他者と協力して困難な課題を解決し、社会に寄与貢献しようとする志高い人材の育成	教育活動の中で協同的な学びや、社会的な学びを行う 特別活動は、社会や今日的課題を扱う	多様なメディアを使ながらも、主体的な学習態度を育成している 自然環境や社会問題に触れさせるような特別活動の実施	B	生徒や保護者の評価は高く教育活動の工夫を評価しているが、教師の評価が低く教育活動の目的や主旨を反映させる工夫が必要である。
	広報・生徒募集活動の推進	広域通信制についての周知広報活動・生徒募集	SNS・HPによる広報活動 生徒募集に関する、直接的募集活動	HPの更新によるリアルタイムな情報発信 SNSを使った情報発信 学校訪問による広報活動 個別相談会による広報活動 合同説明会による広報活動	A	広報活動では、関係者評価という点でそれぞれの評価は高く、広く本校の事をし知らせようという意識は高い。一方、生徒募集という観点からは、入学者の地域に偏りがあり、更なる広報活動が必要である。
学力向上	生徒の自己管理能力の向上	日常の学習活動の把握	単位認定に係る各種活動の把握と積極的参加	期限内添削課題提出への取組 面接指導の効果的活用 特別活動への積極的参加の勧誘	C	添削課題の提出状況については、教師側は行っていると回答しているが、保護者・生徒へは届いていないというのが現状である。
	能動的学習態度の育成	多様な学習方法を駆使しての授業改善	多様な学習メディアを能動的学習態度の育成に視点を置いて活用している	VODや授業動画について能動的学習態度の育成に工夫をしている メディアを通しての授業の中で生徒参加型の授業を構成している	B	添削課題を提出することを通して、生徒の回答は主体性をもって行っていると回答しているが、教師側は生徒の主体的な活動をあまり高く評価していない。
キャリア教育	進路意識の向上	早期の進路希望の決定	様々な学習活動の中での進路指導 進路学習を含めた特別活動	教科横断的な進路指導 進路希望を考慮した特別活動の企画	B	教科横断的な進路指導を意識して教師は取り組んでいるとの回答は少なかったが、結果として生徒保護者は様々な場面を通して教育活動に対して高い評価をしている。教師側がもっと意識した指導をできれば更に評価は高まると考えられる。
	生徒の進路希望に沿った進路指導	生徒の進路希望に大切にしたい進路実現	生徒の個別事情に応じた進路相談 進路実現に向けた具体的な取り組み	生徒の生活背景を把握した進路相談 進路希望に連動した学習指導 就業体験や体験授業等の積極的活用		
	生徒の主体性の育成	カリキュラムマネジメントを意識した主体性の育成	授業改善の中で取り組み 学校行事の中での取り組み	生徒の活動を意識した授業運営をしている 生徒主体の行事運営になっている		
生徒指導	規範意識の向上	社会的な活動を通して規範意識の向上	教育活動の中で規範意識の涵養をする	教育活動全般に規範意識を意識した指導をしている	C	規範意識の涵養や、主体的な態度の育成に関しては、通信制高校の教育活動では難しい一面である。全ての教育活動において主旨を意識した活動を行うことで評価を高める努力が必要。

いじめ対策	いじめ等の問題行動の未然防止等	担任・生徒指導部を中心とした組織的対応の徹底	丁寧な個人面談の実施	生徒の個性を十分に理解し組織的に対応している	B	集団を形成する場面が少なく、SNS等でのいじめ事案に気を使っている、情報教育等を通して様々な問題への対応をしている。
人権教育・生徒支援	互いを尊重する人権教育の推進	他者の考えを理解し共感する能力の育成	特別活動等での活動の中で互いに認め合う態度の醸成	体験発表等を通して、自己の成長につなげる指導の工夫	B	特別支援教育活動は、外部専門機関等の専門職員も活用しながら行っている。すべての生徒にまんべんなくできることが理想であるが、時間的な制約や、生徒個人の都合等で教育相談等が実施できない場合がある。職員全員のスキルを上げることで、生徒に関わる機会を均等化する努力が必要である。
	生徒理解の充実	専門的知識や経験を持つ専門的知見の活用	教育相談や養護教諭面談を通して心身両面に生徒の理解を促進する	SCや養護教諭の活動を積極的に活用し支援的立場に立った指導をしている	B	
	特別支援教育の推進	生徒の状況を把握できる組織的体制づくり	個別面談の実施	生徒の背景も含めた生徒理解に努め特別支援教育を推進している	B	
地域連携との役割	地域特区設立校としての役割	教育特区の設立において適切な地域連携活動を行っている	教育特区に定めがある教育活動を適切に行った上で地域との連携活動を行っている	特別活動の中で地域と特色を取り入れた教育活動を行っている	B	対面的な、教育活動の主な部分を山都町を舞台に行っているため、評価は高い。山都町をより良くPRすることで更に評価は高くなる。

4 学校関係者評価

(1) 評価全体回答数は、N=3406個であった。質問方法は、4段階の選択方式で、マイクロソフトフォームスによるウェブ回答とした。評価対象者総数は教師10、保護者121・生徒121で総数の対象で135人からの回答を得た。回答率は、54%であった。質問数は、教師に32項目、生徒保護者へは、26項目であった。すべての項目を総合して45%が最高の評価を得ている。2番目の評価と加算すると60%の回答者が高評価を付けてくれた。次年度以降は、各評価項目を分析、最高評価が50%を超え、2番目の評価加算して70%を超えることを目指し学校経営に尽力したい。

(2) 教師評価によると、学校の教育方針を概ね理解した状況で、授業運営をしている。一方授業に参加している生徒の状況把握や授業への工夫に関しては改善の余地がある。教育活動全般において、進路指導の意識には低い評価であった一方、人権教育については高い評価が出ていた。全体的に本校が抱える課題である生徒募集に関しては高い意識があった。

(3) 生徒評価から、学校に対する安心感や満足度は比較的高く、6割を超える生徒が高評価をしている。満足度という点では評価をもっと高くする努力が必要と分析する。日常的教育活動については、高評価であった反面、生徒の状況把握や、情報発信という点では努力の必要性がある。また、教育活動の中での進路指導や人権教育についての評価は低く、教師側の改善が求められず

(4) 保護者評価から、学校に対する安心感が高い反面、満足度に関しては生徒評価以上に厳しい評価があった、この点では、改善の方向性も含め分析が必要である。この評価の中で、学習状況の情報発信に関して評価が低く、通信制高校での保護者と生徒と担任のあり方を見つめ直す必要性がある。

5 総合評価

(1) Cが出た項目を大切に、今後の学校経営に活かしていくことが、学校の存在価値を高める事に繋がるのではないかと

(2) 通信教育では、生徒・保護者との連携や連絡が難しいという側面があることは、十分に理解できるが、保護者会等の工夫で前向きに取り組んでもらいたい。

(3) 自主性や規範意識を高めるためには、自己肯定感を高めることが有効である。自己肯定感が高まる場面は個人で様々であるため、スモールステップを意識したいろいろな場面を提供することが必要である。

(4) 広域通信制の強みを生かし他県在住の生徒同士の交流を活かすこともできるのではないかと。コミュニケーション能力の向上も期待できる。

(5) 資格取得等を活用して自己肯定感を高めることに繋がるのではないかと。また、学校設定科目も活用することができるので

はないか。

(6) 山都町との連携事業も考えた取り組みで、高校生の思い出作りに協力できることのできるのではないかと。

5 次年度への課題・改善方策

(1) アンケート結果による全体評価は、期せずして教師・生徒・保護者共に最高評価4を40%強・やや良い評価3が15%程度、やや悪い評価2が40%弱という結果であった。評価のずれがそれぞれの認識のずれから、課題が浮き彫りになる場合もあるが、認識は同一なので、改善の方向性も同じと言える。

(2) 改善する課題の一つ目として、大きく上げられるものは、教育活動の結果の情報伝達方法である。添削課題の提出情報や、学校行事における活動の趣旨やその教育効果がなんであるかの周知不足が上げられる。教科横断的な教育活動において得られるものを前面に出して行い、意識して取り組むことは、更に教育効果を上げることに繋がるからである。

(3) 2つ目の改善点は、規範意識の醸成である。集団的活動の場面が少ない通信制高校の課題ともいえるこの点は、いかに効率的に規範意識の醸成を様々な教育活動の場面で意識させることができるかにかかってくる。急激な変化をする現代社会を生き抜いていく次世代の若者に必要なスキルを個に応じて身に付けさせる工夫が我々には求められるのである。

学校評価アンケート（教師用）	大いに4	まあまあ3	だいたい2	まったくない1
1 学校の教育目標を理解しているか	4	3	2	1
2 授業動画やVODを適切に提供しているか	4	3	2	1
3 添削課題の質や量を工夫しているか	4	3	2	1
4 特別活動の主旨を理解しているか	4	3	2	1
5 特別活動の内容に工夫をしているか	4	3	2	1
6 生徒の実情に応じた添削課題や教材の選定を行っているか	4	3	2	1
7 生徒の学習活動を把握できているか	4	3	2	1
8 特別活動への参加を工夫しているか	4	3	2	1
9 主体的な額態度の育成を視点に授業を行っている	4	3	2	1
10 特別活動には社会的課題や喫緊の課題を意識して企画している	4	3	2	1
11 学校HPについて関心を持っている	4	3	2	1
12 広報活動において、SNSによる広報活動に関心がある	4	3	2	1
13 生徒募集に関して関心がある	4	3	2	1
14 生徒の添削課題の提出について把握している	4	3	2	1
15 生徒の学習活動の中で面接指導を重視している	4	3	2	1
16 学校の特別活動への参加を生徒へ呼びかけている	4	3	2	1
17 進路指導を意識した授業運営をしている	4	3	2	1
18 学校の特別活動は進路指導を意識している	4	3	2	1
19 体験的学習は進路指導に役立っている	4	3	2	1
20 授業の工夫で生徒主体を意識している	4	3	2	1
21 学校行事には生徒は主体的に参加している	4	3	2	1
22 教育活動全般に規範意識を涵養している	4	3	2	1
23 いじめ防止等について組織的に活動できている	4	3	2	1
24 人権教育について組織的に活動している	4	3	2	1
25 特別支援教育における教育活動は盛んにおこなわれている	4	3	2	1
26 山都町との連携活動を盛んにおこなわれている	4	3	2	1

学校評価アンケート（保護者）

	大いに4	まあまあ3	だいたい2	まったくない1
1 この学校に入って安心した	4	3	2	1
2 この学校教育には満足している	4	3	2	1
3 教師は通信教育の利点を活用するように工夫している	4	3	2	1
4 授業動画やVODを適切に提供しているか	4	3	2	1
5 添削課題の質や量を工夫しているか	4	3	2	1
6 十分な特別活動の機会を提供している	4	3	2	1
7 特別活動の内容に工夫をしているか	4	3	2	1
8 生徒の実情に応じた添削課題や教材の選定を行っているか	4	3	2	1
9 生徒の学習活動を把握できているか	4	3	2	1
10 特別活動への参加を工夫しているか	4	3	2	1
11 学校HPについて工夫されている	4	3	2	1
12 広報活動において、SNSによる広報活動を頑張っている	4	3	2	1
13 添削課題の提出情報を適切に提供している	4	3	2	1
14 教師はスクーリング指導を工夫している	4	3	2	1
15 学校の特別活動への参加を生徒へ呼びかけている	4	3	2	1
16 進路指導を意識した教育活動をしている	4	3	2	1
17 学校の特別活動は進路指導を意識している	4	3	2	1
18 体験的学習は進路指導に役立っている	4	3	2	1
19 授業の工夫で生徒主体を意識している	4	3	2	1
20 学校行事には生徒は主体的に参加している	4	3	2	1
21 教育活動全般に規範意識を涵養している	4	3	2	1
22 いじめ防止等について組織的に活動できている	4	3	2	1
23 人権教育について組織的に活動している	4	3	2	1
24 特別支援教育における教育活動は盛んにおこなわれている	4	3	2	1
25 山都町との連携活動を盛んにおこなわれている	4	3	2	1

そよ風学舎所属の保護者様への筆問

26 そよ風学舎と本校との連携をして活動を行っている	4	3	2	1
----------------------------	---	---	---	---

学校評価アンケート（生徒用）	大いに4	まあまあ3	だいたい2	まったくない1
1 この学校に入って安心した	4	3	2	1
2 この学校教育には満足している	4	3	2	1
3 教師は通信教育の利点を活用するように工夫している	4	3	2	1
4 授業動画やVODを適切に提供しているか	4	3	2	1
5 添削課題の質や量を工夫しているか	4	3	2	1
6 十分な特別活動の機会を提供している	4	3	2	1
7 特別活動の内容に工夫をしているか	4	3	2	1
8 生徒の実情に応じた添削課題や教材の選定を行っているか	4	3	2	1
9 生徒の学習活動を把握できているか	4	3	2	1
10 特別活動への参加を工夫しているか	4	3	2	1
11 主体的な学習態度の育成を視点に授業を行っている	4	3	2	1
12 学校HPについて工夫されている	4	3	2	1
13 広報活動において、SNSによる広報活動を頑張っている	4	3	2	1
14 添削課題の提出情報を適切に提供している	4	3	2	1
15 教師はスクーリング指導を工夫している	4	3	2	1
16 学校の特別活動への参加を生徒へ呼びかけている	4	3	2	1
17 進路指導を意識した教育活動をしている	4	3	2	1
18 学校の特別活動は進路指導を意識している	4	3	2	1
19 体験的学習は進路指導に役立っている	4	3	2	1
20 授業の工夫で生徒主体を意識している	4	3	2	1
21 学校行事には生徒は主体的に参加している	4	3	2	1
22 教育活動全般に規範意識を涵養している	4	3	2	1
23 いじめ防止等について組織的に活動できている	4	3	2	1
24 人権教育について組織的に活動している	4	3	2	1
25 特別支援教育における教育活動は盛んにおこなわれている	4	3	2	1
26 山都町との連携活動を盛んにおこなわれている	4	3	2	1